



内政

1. 教育省が100万プラの赤字

モラオ教育技能開発副大臣は、同省には100万プラの赤字があると発言。政府予算の20%余りが教育技能開発省に割り当てられているが、その大半の55%が職員給与に裂かれている他、施設維持費などが嵩み、高等教育へ進む学生への奨学金が支弁できない状況。

(16日：デイリーニュース紙)

2. 与党BDPが特別国会の開催を要求

与党ボツワナ民主党(BDP)は特別選出議員2名の任命、国家開発計画(NDP)11及びビジョン2036協議のため(当館注：NDP11は今後国会において検討されるが、ビジョン2036は2016年9月30日に公表済み)、10月17日の特別国会召集を要求。

(8日：ガーディアン紙)

3. 省庁再編により2省が新設予定

省庁新設、大臣・副大臣の増員を定めた法案が8月12日成立。この法案で、鉱物エネルギー水資源省及び教育技能開発省が分割され、2省が新設される他、これまで61名だった議員定数に特別選出議員の2名が新たに加わる。

(20日：メヒ紙)

4. モカイラ鉱物エネルギー水資源大臣が水担当大臣就任を拒否

モカイラ鉱物エネルギー水資源大臣は省庁再編で新設される水担当大臣への就任要請を拒否した。鉱物エネルギー水資源省は、その所掌を水と鉱物・エネルギーの2省に分け、水担当省には水不足対策と水公社の改革が求められるが、モカイラ大臣は閣僚から退く構えを見せている。

(26日：ウィークエンドポスト紙)

5. 野党連合協議ついに開催

12日、野党連合協議がついに開催され、野党4党が参加。内3党はすでにボツワナ民主改革のためのアンブレラ(UDC)として連合を組んでいた。今後、新体制の結成、それに伴う党名変更の可能性も示唆されている。

(26日：ウィークエンドポスト紙)

6. カーマ大統領が囚人580名に恩赦

カーマ大統領はボツワナ独立50周年記念を祝し、軽犯罪を犯した囚人580名に対し恩赦を与えた。

(28日：デイリーニュース紙)

7. ボツワナ銀行総裁が辞任を発表

モトロ・ボツワナ銀行総裁が辞任を発表。10月20日付けで17年間に及ぶ総裁の職から退く。後任はカーマ大統領によって、ペラエロ及びモツォミ両副総裁の中から選出される見通し。

(30日：メヒ紙)

外交

1. 野党がスワジランド国王のSADC議長就任を否認

野党ボツワナ国民戦線（BNF）は、スワジランドがSADC地域における最後の君主制国家であり、ムスワティ3世・スワジランド国王が司法、立法、行政を司る絶対権力者として民主主義を押しつけていることを理由に、同国王のSADC議長就任を否認した。

（5日：ウィークエンドポスト紙）

2. シンガポール外務大臣がボツワナ訪問

シンガポールのオスマン外務大臣が2日間の日程でボツワナを訪問。同大臣はモラレ公共政策担当大臣と面談し、二重課税の回避や情報技術、教育、経済分野など二国間協力関係の強化について協議した。シンガポールは1993年にボツワナとの外交関係を樹立し、これまでに国立生産センターや公共サービス大学の設立に寄与している。

（7日：デイリーニュース紙）

3. ロシアがボツワナ学生29名に奨学金を授与

ロシア大使館はボツワナ学生29名に奨学金を授与した。ロシア教育科学省とボツワナ教育技能開発省との間でMOUが交わされ、ボツワナ奨学生の人数がこれまでの10人から29人に拡大された。これまでに300人以上のボツワナ学生がロシアの大学を卒業している。

（8日：デイリーニュース紙）

4. カーマ大統領がザンビア大統領就任式に出席

カーマ大統領がザンビアのルング大統領の就任式に出席。同行したベンソン・モイトイ外務国際協力大臣は、プレスに対し、AU及びSADCからの国際選挙監視団が見守る中、大統領選挙は自由かつ公平に執り行われたと述べた。

（14日：デイリーニュース紙）

5. 尾西大使が教育省の働きを賞賛

尾西大使は、マシェケ中学校の表彰式の中で、教育とは教室の中だけにとどまらず、生徒の個性と能力を伸ばすことであり、教育技能開発省は、これまで様々な活動によって、青少年と学生の地位向上に尽力していると同省の働きぶりを称えた。

（20日：デイリーニュース紙）

6. ジンバブエがカーマ大統領に警告

ロイター通信のインタビューでカーマ大統領は、「ムガベエ大統領は既に92歳と高齢で、国を変革するためにも退くべきだ」と述べた。これに対し、ジンバブエの情報大臣は、カーマ大統領のコメントは外交的・儀礼的観念に欠けていると応戦した。

（26日：サンデースタンダード紙）

経済

1. 経済指標

1) ボツワナの主要経済指数

・経済成長率

2016年第2四半期の経済成長率は、前期比-1.3%（同年第1四半期の経済成長率は、前期比1.6%（修正済み））。

・インフレ率

2016年8月は2.6%（同年7月は2.7%）。

・為替レート（FNB）

2016年9月28日

1 プラ=0.094米ドル

1 プラ=1.248南ア・ランド

1 プラ=9.534円

2016年8月31日：

1 プラ=0.09米ドル

1 プラ=1.295南ア・ランド

1 プラ=9.387円

2. ダイヤモンド産業

1) デビアス社、第7回サイト売り上げ好調

デビアス社は、同社の第7回サイトにおける売り上げが6億3千万米ドルであったことを報告した。第6回サイトの売り上げ5億2千8百万米ドルと比較し、大幅な売り上げ上昇を記録したことになるが、これは、研磨企業が年末のダイヤモンド需要に備えて在庫を増加させる動きを見せたためである。

（9日：メヒ紙）

3. エネルギー・資源

1) 今夏の降雨量、平年並み予測

気象庁の発表によると、2016年から2017年にかけての雨期における降雨量は、例年並み又は平均を上回る降雨量が予測される。近年は気候変動により、極めて寒さの厳しい冬と11月中旬～下旬という雨期到来の遅れが観察されている。

（23日：デイリー・ニュース紙）

4. BREXITの影響なし

ボツワナ銀行の報告によると、英のEU脱退（BREXIT）によるボツワナのダイヤモンド産業及び牛肉産業への目立った影響は確認されておらず、ボツワナ経済に大きな影響を与えることはないものと見込まれている。（7日：ガゼット紙）

5. BOT50の経済効果

9月30日に独立50周年（BOT50）を迎えるボツワナであるが、小売業を中心にその経済効果が期待される。ナショナルカラーである水色、白、黒をあしらった衣服や雑貨に対する需要が高まっており、既に多くの小売業から好調な売り上げの声が上がっている。BOT50を目前に、ボツワナの製造能力が試されていると言える。

（8日：デイリー・ニュース紙）

6. 「2017/2018財政年度予算戦略案」

マタンボ財務開発計画大臣は、「2017/2018財政年度予算戦略案」を発表し、その中で、2016/2017財政年度の財政収支はGDPの4.1%に相当する63.8億プラの赤字が、2017/201

8 財政年度の財政収支は GDP の 4. 1 % に相当する 6 8 億プラの赤字がそれぞれ見込まれる旨報告した。同戦略案によると、経済成長率に関し、2 0 1 5 年に 0. 3 % のマイナス成長を記録したが、2 0 1 6 年は 3. 5 %、2 0 1 7 年及び 2 0 1 8 年は 4. 1 % の成長率が見込まれる。

(1 7 日：ウィークエンド・ポスト)

7. 日本政府、フンクエ小学校に援助

2 0 日、尾西大使は、対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「カラハリ地区フンクエ村幼稚園建設計画」の引渡式に出席し、スピーチの中で「本事業がフンクエのコミュニティにおける幼児教育に大きく寄与することを期待している」旨述べた。また、マトゥモ・カラハリ地区弁務官は、「本幼稚園は、我々が学校成績の伸び悩みに苦しんでいるところに建設され、日本政府はまさにカラハリ地区の教育の底上げに貢献してくれた」旨感謝の意を述べた。

(2 2 日：デイリー・ニュース紙)

8. SADC-EU 経済連携協定、EU 議会を通過

今年 6 月に署名された SADC-EU 経済連携協定について、先日、EU 議会において投票が行われ、4 1 7 票の賛成、2 1 6 票の反対、6 6 票の棄権をもって、同協定は可決された。この協定が発効すれば、この先 1 0 年間で、SADC 署名国からの農作物を除く 8 6 % (モザンビークのみ 7 4 %) の財に関する対 EU 貿易が自由化されることとなる。

(1 9 日：デイリー・ニュース紙、2 3 日：

ガーディアン紙)

文化

1. 都筑区・ベンテマ小学校文化交流

1 2 日、尾西大使は、「都筑・ボツワナ交流児童画展」の開会式において、「この絵画展を通して日ボツワナの相互理解が深まるものと確信しており、日本の子ども達はボツワナの子ども達と友好を深めたいと思っている」旨述べた。また、林田つづき MY プラザ館長も、茅ヶ崎小学校とベンテマ小学校の間の絆の強さについて言及した。

(1 4 日：デイリー・ニュース紙)